

プロジェクトを
選んで支援！



割り勘で
夢を
かなえよう！

事業指定助成プログラム

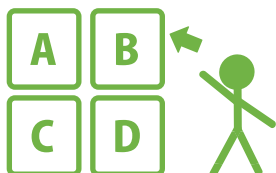
第 11 期

寄付募集期間

2017年12月15日(金)～2018年2月28日(水)

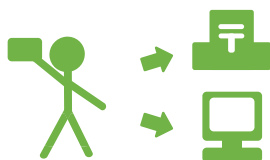
現金・郵便振替での受付は2/20(火)まで
2/21(水)～28(水)はクレジット決済のみ

①



このカタログの中から応援したい取り組みを選んでください。

②



同封の郵便振替用紙でゆうちょ銀行にて寄付をお願いします。インターネットからも可能です。

③



賛同者から集まった寄付により助成を行い取り組みを実行します。実施後は成果を報告します。



公益財団法人

みんなでつくる財団おかやま

OKAYAMA Share Foundation



共に生き活き（いきいき） カラフル保育事業

～高梁市に誰でも利用できる一時保育を～

目標 **450,000 円**
特定非営利活動法人 color

しょうがいの有無にかかわらず、さまざまな子どもたちが集い、地域の方々と子育て支援を通じて、交流することで子どもの社会力を育む多様な受け入れ態勢のある事業（一時預かり事業）を実施します。

「スクラム作戦」で子育て支援に取り組む、高梁市。 しかし、まだ一般児童の一時預かり所がない。

現在、通常学級でなんらかの支援が必要な子どもの割合は、平成24年度と平成26年度を比較すると17.1%、平成26年度と平成28年度では17.4%の増加傾向となっています[1]。岡山県においても平成26年度時点で通所支援サービスを利用している子どもは平成24年と比べると47%増加しています[2]。

こうした中で、高梁市では支援を必要とする子どもの成長を保護者、保健師、保育士、教諭、支援機関、行政機関などの子どもを取り巻く関係機関でスクラムを組んで連携し、支援を行う「スクラム作戦」を実施しています。

NPO法人colorは、しょうがいのある子どもやそのご家族の支援、またそうした支援の啓発活動を行なう支援機関の一つです。私たちの活動の一つに「日中一時支援事業」があります。この事業の中で「お兄ちゃんはcolorで預かってもらえるけど、妹は預かってもらうところがない」という声を聞きました。

高梁市ではしょうがいのある子どもを預かることができる福祉サービスがある一方で、一般児童を一時的に預けることができず困っているお母さんをしばしば見てきました。

[1] 出展：文部科学省 平成28年度特別支援教育に関する調査の結果について

[2] 出展：第4期岡山県障害福祉計画【概要版】

しょうがいの有無に関わらず、どんな子どもたちでも必要な支援を受けられる場所が必要。

そもそもの活動のきっかけは理事長の川上がcolor設立前に見てきた施設で感じた「普通の生活」に違和感を覚えたからです。

学生時代の川上は県外の大学で福祉を学ぶ傍、地域の子どもたちや地域の方と一緒にボランティア活動を行っていました。岡山へ戻り、就職。就職後、さまざまな施設や福祉サービスを訪問し、見てきた施設の生活は、私たちの言う「普通の生活」とは大きくかけ離れたものでした。施設ではお風呂に毎日入れないことや、入れても施設の都合に合わせた日中の時間帯であることも、当時、珍しくはありませんでした。またお金を自由に使うことができず、自分の好きな時間にコーヒーさえ飲むことすらできない状態の施設もありました。自由な選択のない環境では、人が人らしく生きることは難しいのではないかと、あまりにも私たちの考える「普通の生活」とかけ離れすぎているのではないかと・・・。

そのように悩んでいたころ、入所施設を出て生活を始めた方の生き生きとした姿を見て、これが「普通の生活」だと改めて実感し、地域の中で生活するために必要な支援を考えるようになりました。

縁あって高梁市でNPO法人colorを設立し、NPO法人やしょうがい児・者への理解が薄い時期から活動をしてきました。現在はしょうがい児・者に対する法律や福祉サービスも徐々に整備されてきています。しょうがい児・者に対する福祉サービスが充実して行く中、全ての子どもたちの地域の中でのびのびと成長していくために必要なことは何かを考えるようになりました。



「みずたま」の様子



「児童発達支援センター くるーる」の様子

子どもにとって、しょうがいの有無は関係ありません。しょうがいのある子どもが地域の中にいることは当たり前のことです。どんな子どもたちも同じように必要な支援を受けることができ、関わり合いながら、生き生きと活動できる場所を作り上げていくことがこれからの地域社会には必要であると強く感じています。

誰でも利用できる一時預かり事業を実施したい！ 地域の中の当たり前の場所を目指します！

このプロジェクトでは、これまで弊法人が取り組んできたしょうがい児・者の支援ではなく、「誰でも利用できる一時預かり事業」を実施します。

この取り組みでは、地域の方々とさらに繋がり、地域の中の当たり前の場所になることを目指します。家庭でも、学校でも、地域の中のどこであっても地域の方々と触れ合えることが子どもの社会力を育む上で、最も重要なことではないかと思うからです。

しょうがいの有無に関わらず、地域の方々と連携をして高梁市の「子育て支援」に取り組むことで、地域の中にさまざまな人がいること、さまざまな支援がお互いに必要であることに気づき、新しい価値観の町づくりが可能になると考えています。

みなさまからの 寄付金は、一時預かり事業を実施する場所の改修工事、どのような子どもでも楽しく遊べる玩具や備品の購入に活用させていただきます。

高梁市の福祉が充実し、 住みよい町、住みたい町に。

私たちはこれまで高梁市のしょうがい児支援を中心に活動してきました。少しずつ私たちの活動が広まり、現在では、法人設立当初には想像もつかないほどの多くの方々に支えられています。周りの方々に支えられてここまで来られたことに、とても感謝しています。

私たちは、今後さらに高梁市を盛り上げて行きたい気持ちをたくさん抱えています。広く子育て支援に関わることで、新しい高梁市の魅力の発見・創造・提案につながると考えています。

この事業の活動の過程そのものがより大きな魅力となり、地域力となると思っています。私たちの今回の事業を応援よろしくをお願いします。私たちも高梁市を盛り上げる一端を担うサポーターとして、一緒にわくわくしながら楽しみたいと思います。また、ぜひ、私たちの活動やイベントにもご参加ください！

◆ 寄付のプランと特典

寄付プランごとの特典は下記の通りです。

- 1) チームたねプラン (1口 1,000 円)
お礼状送付 (データ)、報告書送付 (データ)
- 2) チームめぐむプラン (1口 3,000 円)
お礼状送付 (データ)、報告書送付 (データ)、報告会ご招待
- 3) チームはなプラン (1口 5,000 円)
お礼状送付 (冊子)、報告書送付 (冊子)、報告会ご招待、講習会ご招待
- 4) チームみのるプラン (1口 10,000 円)
お礼状送付 (冊子)、報告書送付 (冊子)、報告会ご招待、講習会ご招待、オリジナルトートバック
- 5) チームいろいろプラン (ボランティア参加)
一緒に取り組むボランティア募集中！事務局までご連絡ください。

◆ 寄付金の使途について

今回いただいた寄付金は、下記内容に使用させていただきます。

- ・一時預かり事業を実施する場所の改修工事
- ・どのような子どもでも楽しく遊べる玩具や備品の購入

◆ 想定されるリスクとチャレンジ

目標金額に達なかった場合は、事業の縮小をして、自己資金で可能な限りの事業を行います。寄付目標金額よりも多く集まった場合は、地域との共生を伝えるべく、フォーラムを開催し、その開催費用に充てる他、スタッフの補強などを行います。

◆ プロジェクト実施団体

名称：特定非営利活動法人 color

代表：理事長 川上 路代

設立：2006年2月24日

実施団体の詳細な情報はおかやまシェア・ウェブをご覧ください。
「shareweb 特定非営利活動法人 color」でインターネット検索！



●「割り勘」とは？

事業指定助成プログラム、通称「割り勘」とは、寄付を原資とした助成事業です。NPO・市民団体等が取り組む事業内容を社会に発信し、事業への賛同者を募ることで、「寄付により資金集めを支援する地域版クラウドファンディング」です。



● ご寄付の方法

クレジット決済

モーションギャラリーのウェブサイト内からクレジット決済にて寄付をすることができます。

郵便振替

本カタログに挟み込んでいるものをご使用いただくか、事務局及び申請団体へ連絡いただき振替用紙を受け取ってください。

現金

説明会の会場やみんつく財団事務所で受付しております。事務局までお問い合わせください。

● ご寄付をいただいた後の流れ

- 1) ご寄付をいただきましたら、入金確認後、電子メールにてお礼と受付確認の連絡をさせていただきます。
- 2) 募集期間終了後、助成金額が確定（1カ月程度見込み）したのち、領収書及び助成結果通知を送らせていただきます。※領収書は、未発行の場合のみ発送させていただきます。
※モーションギャラリー経由（クレジット）の場合は領収書は発行されません。
- 3) 助成時に、各団体へ寄付者名簿をお渡しし、事業実施後、事業報告が各団体より行われます。みんなでつくる財団おかやまのウェブサイトでも事業結果をご報告いたします。

Q. 目標金額に達できなかった場合はどうなりますか？

集まった金額で助成（資金提供）を行います（当法人の運営経費5%+システム利用料を差し引いた額）。提案事業の目的に沿ったものを、事業規模の縮小もしくは他の資金を充当することにより実施できるものを選定しております。詳しくはウェブサイトの募集要項をご覧ください。

Q. 逆に、期間内に目標金額を超えたらどうなりますか？

目標額を超えて集まった金額も含めて助成し、提案事業の発展に活用していただきます。

Q. 目標金額はどのようにして決まっていますか？

事業提案者の申請額に、当法人の運営手数料（助成額の5%+システム利用時はシステム利用料）を加えたものになっています。

みんなの何とかしたいをカタチにする仕組み。



みんなでつくる財団おかやま、通称「みんつく」は、530名以上の方からの寄付4,133千円をもとに設立した「みんなの何とかしたいをカタチにする」市民コミュニティ財団（公益財団法人）です。「つなぐ、つたえる、シェアをする」をキーワードに、広く多くの人に知ってもらいながら資金を集める地域版クラウドファンディング「割り勘」、個人でも少額から基金を設置できる「冠基金」などの仕組みを提供しています。ヒト・モノ・カネ・情報の資源循環を通じて、社会課題の解決を進め「安心で持続可能な地域社会の実現」を目指しています。

公益財団法人

みんなでつくる財団おかやま

☎ 086-239-0329

✉ info@mintuku.jp

🌐 www.mintuku.jp

🔍 みんつく財団 検索

岡山市北区奉還町三丁目15-8奉還町第一ビル第11号
寄付の相談や、講演依頼も気軽にご連絡ください